

昭和11年

津山城の張りぼて天守閣

写真提供・粉川 誠三さん（国分寺）

姫新線全通を記念して、昭和11年3月26日から5月5日まで開催された「産業振興大博覧会」。その目玉として再建された津山城天守閣の写真です。

この天守閣は博覧会用に設計されたもので、本当の津山城天守閣の外観とはまったく異なっています。博覧会期間中には、郷土の文物の展示施設として使用され、多くの人が入館しました。

この博覧会については『津山市主催姫新線全通記』



念産業振興大博覧会並ニ協賛会誌』に記録が残されています。それによれば、メイン会場の産業本館のほか、時節柄が入り口が戦車で出口が爆撃機の形をした国防館などがあり、面白いところでは、怪談・伝説を基にした電気で動かす博多人形のお化け館など、数多くのパビリオンがありました。

当初、姫路方面からの集客を当て込んでいたようですが、同じ時期に兵庫県内2カ所でも大きな博覧会があったため、客足は伸びませんでした。また、季節外れの雪が降る日もあったそうです。

しかし、閉幕してみると総入場者数は19万6千人にもなり、入場料収入は当初の予想よりも多く、黒字になったそうです。



現在の天守閣跡（備中櫓前から望む）

このコーナーは歴史的
文化資産のデジタルア
ーカイブ（古写真のデジ
タル化）事業の成果の中
から紹介しています

問い合わせ先
津山郷土博物館
☎22-4567

表紙について

サツマイモ収穫祭 10月2日
リージョンセンター西側イモ畑

お父さんやお母さんに手伝ってもらいながら、汗をかきかきイモを掘る子どもたち。「見て見て！ おっきいよ！」「ボクのイモの方がデカイで！」。夢中になって楽しむ声が秋日和の空に響いていました。

つ・ぶ・や・き

編集室



広報担当になって4回目の津山まつり。最初の年は必死に神輿の後を追いつけました。昨年は実際にだんじりを曳き、熱い祭りを直接体験。今年は大隅神社の神輿、鍛冶町のだんじりが蘇るとともに、徳守神社の神輿の現在の姿が見納めに。すべてがうれしい思い出です。（&）

広報に異動して、はや半年がたちました。「きらめく津山人」を担当してさまざまな人に会い、お話を聞いていると津山を愛し、誇りに思っている人がたくさんいることが分かります。そんなすてきな人、あなたの近くにいませんか？ どうぞ広報にご紹介ください。（修）

皆さん、健（検）診は受けましたか？「わたしは病気になんかならない」なんて根拠のない自信を持っているそこのあなた。「病気が発見されたら怖い」なんて尻込んでるそこのきみ。だめですよ、健（検）診に行かないと。自分を守るのは自分自身ですからね。（和）

